

鶴見岳・伽藍岳の火山活動に関する災害情報について (第1報)

令和4年7月8日
9時30分現在
大分県災害対策連絡室

1 火山名 鶴見岳・伽藍岳

2 噴火警報等の発表状況

7月8日 5時10分 噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から
2（火口周辺規制）に引き上げ

3 県の災害対応状況

7月8日 5時10分 大分県災害対策連絡室設置
大分県北部地区災害対策連絡室設置
大分県中部地区災害対策連絡室設置
大分県東部地区災害対策連絡室設置

4 被害状況

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1)人的被害 | なし |
| (2)建物被害 | なし |
| (3)道路被害（道路規制含む） | 県道1件 詳細は別紙のとおり |
| (4)河川被害 | なし |
| (5)土砂被害 | なし |
| (6)農林水産業被害 | なし |
| (7)文教施設被害 | なし |
| (8)ライフライン被害 | なし |
| (9)交通被害 | なし |
| (10)その他被害 | なし |

5 火山活動の状況

伽藍岳では、8日2時47分より山体を震源とする火山性地震が多発。6時までに61回（速報値）発生。

6 防災上の警戒事項等

伽藍岳の火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒。噴火時には、風下側で火山灰・小さな噴石に注意。
今後の火山活動の推移に留意。

※これは速報であり、数値等は今後変わることがあります。

